

2 個別事業評価調書

団体名: 与謝野町

事業名		住民自治活動支援事業					
事業の概要		依然として厳しい財政状況など行政を取り巻く昨今の状況を鑑み、魅力あるまちづくりを推進する上で、地域の協働と自治の確立は不可欠であり、地域住民が主体となって住み良いまちづくりを進めていくため、行政としても積極的な支援を行うものである。また、地域コミュニティ活動の拠点となる公民館の整備や、地域コミュニティの重要な役割を担っている公民館活動を推進することにより、地域コミュニティの活性化を図るものである。 < 住民自治活動支援事業 > 与謝野町自治振興補助金 32件 < 公民館整備事業 > 石川公民館 三河内公民館 幾地公民館					
		事業期間	平成22年4月1日～平成23年1月31日				
		総事業費	15,157	本年度事業費	15,157	交付金交付額	7,577
事業評価	事業の必要性	依然として厳しい財政状況など行政を取り巻く昨今の状況を鑑み、魅力あるまちづくりを推進する上で、地域の協働と自治の確立は不可欠なものである。地域住民が主体となって住み良いまちづくりを進めていくため、行政としても最大限の支援を行っていくものである。					
	事業の有効性	地域コミュニティの活性化には、その中核となる施設の整備が不可欠である。これらの施設は子供や高齢者も多く利用する機会があるため、安全化・バリアフリー化を進めることにより、多くの住民にとって利用し易い施設とすることで、地域コミュニティ充実の役割を十分に発揮できるものとなる。					
	事業の効率性	地方分権時代にふさわしいまちを築くためには、地域コミュニティの充実が不可欠である。本事業により地域への支援を継続していくことで、自ら考え行動できる成熟した地域コミュニティを実現させるものである。					
	具体的な成果	1 府と市町村等との連携に資する成果					
		2 住民の自治意識を高める成果 住民自治活動を支援することによって、行政に依存せず自立した地域コミュニティの育成に資する。また、これによって新しい町の個性や活力が生まれ、自助・共助・公助が一体となった町を実現する。					
		3 リーディング・モデル成果 地域コミュニティの活性化には、その中核となる施設の整備が不可欠である。これらの施設は子供や高齢者も多く利用する機会があるため、安全化・バリアフリー化を進め、多くの住民にとって利用し易い施設とすることで、地域コミュニティ充実の役割を十分に発揮できるものとなる。					
4 広域的波及成果 地域の集会施設等を整備することで、その施設を拠点とした様々な地域活動を実施できることとなり、地域住民が活躍できる場を提供するきっかけとなる。住民が元気で活躍できるまちには笑顔が溢れ、誰もが住みたいと思えるまちに、また一歩近づくものである。							
5 行財政改革に資する成果 魅力あるまちづくりを推進するために地域の力を導入することで、行政の負担を軽減しつつも、よりきめ細やかな問題対応が可能となる。 また、資源・人材・資金を最大限に活用する地域の経営手法を行政にも取り入れることで、効果的な行財政の運営に資するものとなる。							
6 その他の成果							

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。
- 2 「具体的な成果」欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること。